



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2010年3月 No.334
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2009~2010)
センテニアルクラブ会長 : 『Onward Centennial, again』
東京セントラルクラブ会長 : 『一つとなって YMCAへ』
国際会長 : 『一つとなる力』
アジア会長 : 『夢みるアジア、愛するアジア』
西日本区理事 : 『すべてのいのちを大切に』
中西部部長 : 『元気はつらつ中西部』

クラブ役員	Officers
会 長	: 山中 秀男
副会長	: 新保 正秋
書 記	: 石津 雅人
会 計	: 中村 幸枝
メネット会長	: 山中 ちあき
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of March

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合
 いなさい。これがわたしの掟である。友のために自
 分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

(ヨハネによる福音書 15章 12、13節)

March Club Meeting

『EF/JWF』

3 月 第 1 例 会

日時：2010年3月17日(水) 18:30~20:30
 場所：ホテルグランヴィア大阪

司会：畠中 彬君

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 開会点鐘 | 山中 秀男 会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. 聖句朗読 | 福永 嘉彦 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 山中 秀男 会長 |
| 5. 今月の強調活動 | 中村 茂高 君 |
| 6. 連絡・報告・ニュース | 各メンバー |
| 7. 晩餐 | — 同 |
| 8. 卓話「オーストラリアの老人ホーム事情」 | |
| | 植松正道・高齢者福祉総合施設ももやま介護職 |
| 8. 誕生祝い・ニコニコ献金 | — 同 |
| 9. 閉会点鐘 | 山中 秀男 会長 |

18時から、西日本区広島大会に向け、平和の千羽の折鶴を作るので、出
 席可能な人は早めに集合してください。800羽を表コミで200羽をクラブ
 で作成する予定。4/末までにメネット主査に渡します。

ハイチ大地震募金(2/6落語会)をYMCA・鍛冶田さんに贈呈します。

3 月 第 2 例 会

日時：2010年3月24日(水)18:00~20:30(開始時刻を
 30分早めています)

場所：大阪YMCA土佐堀会館4F

3月お誕生日：谷川メネット(17日)、松浦メン
 (22日)、中村珠メネット(25日)

2月から500円程度のお菓子をプレゼント。3月からは司会者がゲスト
 の分も含め用意することになっています。

例会担当

3班：石津、谷川、中村隆、松浦の各メン、
 山村メネット

医療メディエーターとい職種ご存じですか？

坂本 哲朗

先日、医療メディエーターの初級講習会に行く機会を
 得ました。少し耳慣れない言葉かもしれませんが、皆さ
 んに知っていただければと考えます。近年の患者の権利
 意識の向上とともに医療訴訟は増加の一途をたどり、現
 場の第一線で働く医療者は不安のなかで防御的姿勢にな
 らざるを得ない環境に置かれています。また何か問題
 が、遭ったときに、患者さんや家族にとっても不幸なこ
 とであり、真相を知りたい、悲しみから回復したいとい
 う思いが、置き去りにされたまま、法的手段でもってし
 か医療者と対話できない状況は、両者にとって好ましく
 ありません。

そのような中、医療の苦情や事故後の初期対応の際
 に、患者側と医療者側の対話の橋渡しをする役割である
医療メディエーター(医療対話仲介者)と言う役割の人
 がいる病院があります。対話促進といっても、その役割
 技法は、Harvard Law Schoolで開発された紛争構造
 の分析手法、対話促進技法など、理論的裏付けをもつも
 のである。もちろん、さらにその背景には、患者の想い
 や悲嘆に寄り添い、事故の当事者を支えようとする真摯
 で誠実な姿勢と倫理性が要求されます。

(次回は中村幸枝さんです)

【クラブ統計 Statistics】

2010年2月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 18名	メ ン	14名	10名	2月 現切 現金	2月：17,800円 累 計：160,000円
例会出席 14名	メネット	5名	2名		
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名		
	ゲ ス ト	5名	0名		
出席率 77.8%	合 計	24名	12名	0円	

2 月 第 2 例 会

日時：2010年2月24日（水）18:30～20:30

場所：大阪YMCA会館504号室

出席者：石津、大村、岡本、鍛冶田、新保、谷川、中村茂、松浦、三浦、山田、山中の各メン。山中、山村の各メネット

報告/協議事項

1. 2月例会と反省：スピーチは内容的によかったが、時間が足りなかった。
2. YY フォーラム（2月12日）：経過報告に終わっている。ワイズ側の準備不足が目についた。
3. 4月例会の提案者は松浦孝次メン。
卓話：岩坂二規氏（関西学院大学准教授）「二十歳の原点～今を生きる若者の風景」
4. センテニアル寄席収支報告、ハイチ地震募金（大村肇メン）
5. 3月9日感謝の日提案（岡本剛介さん）
6. スペシャルオリンピック採火式 = 3/5（金）12:30～15:00 大阪・四天王寺で
7. 西日本区大会、中西部長からの活動報告（山中秀男メン）
8. 次期中西部活動方針/活動計画、中西部会（9/18）の準備委の立ち上げ。3/6（土）16時から、大阪YMCAで。
9. 表コミの卒業公演 = 3/6（土）16時から
10. 今後のスケジュール
 - ・第13回東日本区大会 = 6/5～6、富士五湖 Y S
 - ・第69回国際大会 8/5～8、パシフィック横浜

（三浦 直之）

YMCA ニュース

早天祈祷会

日 時 3月19日（金）7:30～8:30

場 所 大阪YMCA会館チャペル

証 し 古田敏洋（YMCA学院高校スタッフ）

ボランティア養成講座

* サポートクラスの子どものボランティア養成です

日 時 4月10日（土）10:00～16:00

内 容 LDおよびその周辺の子どもの基本理解
サポートクラスでの援助の仕方

ボランティアとは

新しい年度になりました。多様な不登校を対象とした表現・コミュニケーション学科、発達障害児を対象としたサポートクラス、それらのクラスをすることによりニーズを感じ、総合教育センターを設置したのは2008年夏。発達相談・カウンセリング・プレイセラピー・各種セミナー・巡回相談など行っていますが、月ごとに発達相談が増えています。子育てのことなど気になることがありましたら、ご相談ください。

大阪YMCA国際専門学校 高等課程

表現・コミュニケーション学科

鍛冶田千文 550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6

tel 06(6441)1123 fax 06(6443)7544

今年は2月17日の灰の水曜日からレント（受難節）に入り、4月4日にイースターを迎えます。この時期にはよく J.S.バッハの「マタイ受難曲」に耳を傾けたいものです。この曲を通して、主イエスご自分の命を捧げて、私たちを愛して下さった真実の愛を私たちは覚えて、この時期を過ごしたいものと思います。

聖句選 コメント：福永嘉彦

（次回は、石津雅人さんです）

2月第1例会

と き：10年2月17日（水）18:30～20:30

と ころ：ホテルグランヴィア大阪20階

三寒四温が続く2月は、TOF(Time of Fast)に当たる、食事なしのケーキとお茶の例会。ゲストは鈴木誠也・西日本区常任理事や土佐堀クラブの奥田時夫さん、高橋夫妻らにぎやかにゲストを迎え、24人が集いました。今月のメインプログラムの卓話は、2004年から4年間、東ティモールのディリで、アジア太平洋同盟の兄弟セクレタリーとして、YMCAの設立準備を手がけてきた大阪YMCA国際担当スタッフの石橋秀樹さん。大阪の約8倍



の大きさに100万人の国民がいる同国は、400年のポルトガル領統治後、インドネシア領になり、02年に独立。石橋さんは06年騒乱の、政情不安の最中も活動を続けていました。石橋さんは、YMCAが同

鈴木誠也西日本区理事

卓話をされる石橋秀樹氏



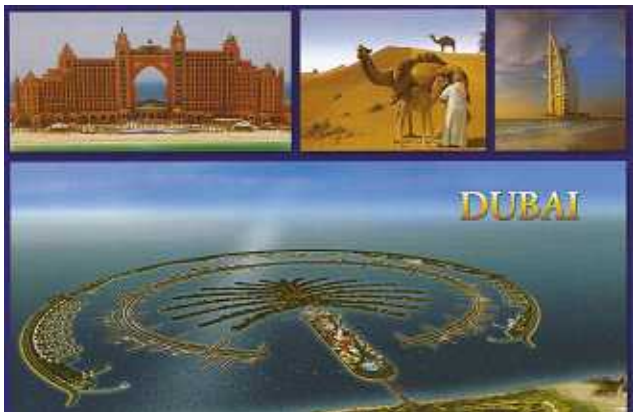
国にどのようにかかわれるのか悩んだこともあったそうですが、コーヒーのフェアトレードを例に、コーヒー豆を積み取るだけでなく、加工し販売することによって収益率を高める指導を行ったとのこと。そのやり方はつかず離れず、きつすぎず甘やかせず。よき隣人としての役割をどう果たすか、支援のあり方についてのよい示唆をいただきました。

（中村 茂高）



谷川 寛

前回、ドバイの発展を象徴する二つの建物を紹介しました。さらに、これだけは紹介したい巨大プロジェクトがあります。沖合いに建設したヤシの木をかたどった人工の島です。「ヤシの木」を意味するパーム・ジュメイラ。幹や外周にホテルやコンドミニアムが完成。ヤシの木の突端には巨大リゾート、アトランチス・ホテルを建設中。(絵葉書の左上) 空から眺めないと、その概要がつかめません。下の絵葉書をごらんください。ドバイは砂漠の国でもあり、この絵葉書には駱駝と砂漠が右上に写っています。



今回の金融危機で、借入れを前提とする不動産開発モデルは見直しを迫られています。「ヤシの木」の人工島を建設した政府系開発会社、ドバイ・ワールドは昨年後半、債務返済の猶予を求めた結果、信用不安が広がりました。目下、お隣の UAE アブダビ首長国による金融支援で債務の不履行を回避しました。

ドバイには、不動産開発ブームを目指して、日本のゼネコンが多数進出しました。しかし、今回の危機で、一部には建設費の支払遅延が発生しているようです。その一つがアラビア半島初の都市高速鉄道「メトロ」です。昨年、9月に開通した世界最長の無人高架鉄道です。日本の三菱重工中心にコンソシアムを形成し、車両は近畿車輛製です。私も乗りましたが、快適です。レザーシートを備えた豪華列車です。なぜこんなモノレールが必要なのでしょう？

実は、高速道路は片側6車線が走っていますが、かなりひどい渋滞です。私も経験しました。交通当局は、メトロの運行で、車の数を17%減らせると期待してはいますが、160万ドライバーの何%が、エアコン付の車を捨てて、猛暑の中でメトロの駅まで歩き、メトロを利用してくれるのでしょうか？なぜなら、政府補助でガソリンは安いし、車にも税金がかからないのです。

ドバイの将来に不安があることは確かですが、この首長国は、地理的利点を生かして湾岸戦争や、イラク戦争のたびに大きくなり、ここに来て中東のハブに押し上げた「危機のバネ」が再び働いているように見えます。今後の動きを注目しましょう。



2 月 B F 報 告

島中(400g) 谷川(40g) 福永(20g)
山中(20g) 田中(10g) 計 490g

第2回センテナル寄席

第2回目の新春「センテナル寄席」を2月6日の午後2時半、大阪YMCA土佐堀会館9階で開催しました。桂吉弥さん、弟弟子の桂吉の丞さんを迎え、会場一杯のお客さんで大盛況でした。中村茂高さんの司会で、まずは、山中会長からセンテナルクラブの案内とメンバーへの入会勧誘と、ハイチ地震の募金などの挨拶の後、桂吉の丞さんの「動物園」元気で大きな声が会場を響かせました。桂吉の丞さんは、昨年「第4回繁昌亭輝き賞」を受賞し、これからの活躍が期待されます。続いて、今や、TV、ラジオをはじめもちろん落語家として日本全国で活躍されている桂吉弥さんが、「ふぐ鍋」「親子酒」の2席を演じていただきました。桂吉弥さんは、年々貫禄も出てきて、関西落語の中堅若手のリーダーとしての地位を確立され、会場のみなさんも落語の世界に引き込まれ、本当に楽しく、大笑いできました。



また、ハイチ地震の募金も26,969円も集まり、YMCA日本同盟を通じてハイチに送られます。今後も桂吉弥さんを迎え、この企画を継続したいものです。(大村 肇)

Club Activities (February, 2010)

The February 17th meeting was held at Hotel Granvia with a total of 19 Y's Men and Y's Menettes and 5 guests. Although no meals were served due to this month's emphasis on the Time of Fast program, the meeting was very lively with so many guests. Shigetaka Nakamura outlined the objectives of skipping a meal for Time of Fast for Akira Hatakenaka, TOF Service Director, who was absent then.

Our speaker this month was HIDEKI ISHIBASHI, a staff member at the Osaka YMCA, who served for 4 years at Dili, East Timor as a Fraternal Secretary of the Asia Pacific Alliance of YMCAs. His audiovisual presentation was very impressive. Despite many hardships, he did a very good job for the Dili community.

Our incoming president, Masaaki Shinpo, shared the successful results of our fund-raising program which was held last month.

We were fortunate this month to have several guests and one guest was a potential new member. More than 17,000 yen was collected for our Niko-Niko fund. We thank everyone for their great support!!!

ニコニコ・メッセージ
【Messages from the Club Members】

ゲストからのメッセージ

いつ訪問しても(2回目ですが)紳士的なクラブで感心します。土佐堀クラブも見習いたいですね。次回はお食事のある時に訪問させてもらいます。

(土佐堀クラブ 奥田 時夫)

突然の訪問失礼いたしました。ゲストスピーカーの石橋さんとはアジアの中の仲間でしたので久しぶりに会いたくて参りました。次期中西部長キャビネットを組織していただきありがとうございます。西日本区へのご支援含めて感謝いたします。6月広島、8月横浜でお会いしましょう。

(西日本区理事 神戸ポートクラブ 鈴木誠也)

会員からのメッセージ

東ティモールの話、興味深く聞かせて頂きました。

(石津 雅人)

センテニアル寄席はお疲れ様でした。今日の「東ティモール」の話は大変興味深かった。

(大村 肇)

東ティモールのことも、北朝鮮と韓国のこともそうですが日本の教育で学んだ事よりもっと深く知ることができました。それから自分ができる事、何かのサインに気づいて行動できたらと思いました。

(岡本 剛介)

石橋さんのお話はYの原点を感じさせられました。Yの活動を誇りに感じます。

(鍛冶田 千文)

東ティモールの話、興味深く聞けました。たいへん勉強になりました。石橋さんありがとうございました。

(坂本 哲朗)

東ティモールの話を聞く事ができてよかったです。大阪青年を読んでいたのが石橋さんのお話には関心がありました。本日は詳細が聞けてよかったです。

(坂本 千春)

施設では10ウイルス、インフルエンザなどに襲われて大変でした。今はホトト息です。YMCA落語は盛況でご苦労様でした。来年は第3回ですが、予定では2月26日(土)です。吉弥の独演会が5月11日(火)です。サンケイブリーゼホールであります。

(新保 正秋)

新しい国、東ティモールは地図の上では知っていましたが、石橋さんに歴史や国の様子などをとてもわかり易く話していただきました。YMCAの活動に期待しております。ありがとうございました。

(隅田 恵子)

東ティモールについては話を聞いたことがありますが東ティモールにYMCAがある点については初めて知り勉強になりました。

(田中 穰二)

石橋さんの東ティモールYMCAの話でアジア太平洋同盟(於、香港)で東ティモール支援の議論をしたのを思い出します。すばらしいプレゼンでした。例会に多くの出席があり感謝です。

(谷川 寛)

東ティモール問題、初めてお聞きして分かりやすく感謝です。

(中村 幸枝)

東ティモールにYMCAがあることをはじめて知りましたが、歴史的に大いに考えさせられることがありました。私のメネット欠席相済みません。

(福永 嘉彦)

石橋さんの東ティモールの話し、改めて感動を覚えました。高橋ご夫妻ようこそいらっしやいました。引き続いてお越しください。

(松浦 孝次)

東ティモールの独立の話とカトリックの国と言う事がわかり理解を深めました。

(松浦 和子)

石橋様の「東ティモール」のお話し大変興味深かったです。

(三浦 直之)

先月のメッセージでも少し触れましたがY s BFファンドの「使用済み切手」は”2Kg”を「福尾」フィラテリストに送りました。”買受金額1200円”との通知が来ました。センテニアルクラブの寄金としてファンドに生かされることになります。

(山田 孝彦)

石橋秀樹さんの卓話にかんしゃして

(山中 秀男)

東ティモールYMCAの発展のために働きを知ることが出来よかったです。これからの活動を祈っています。

(山村 利子)



「折づるラン」を激励しました

2月例会でゲストの鈴木・西日本区理事から紹介があったように、大野勉さん(神戸ポートクラブメンバー)=写真(中央)が、西日本区大会 神戸から広島に向けて、また国際大会 横浜に向けて、週末 西と東に、平和のシンボル=折鶴を持って走っています(約20~30km/日)。

「2月21日(日)午後2時、大阪YMCA(土佐堀)を出発して高槻まで走る」とのことで、何人かのワイズメンバーが、大阪YMCAを出発するとき、激励しました(急な情報でしたが)。センテニアルクラブから、三浦さんと松浦、なかのしまクラブから藤井会長と国友さん、セントラルクラブの尾崎さんたち、理事事務局スタッフほか、総勢15人ほどが、YMCA玄関前で「安全に気をつけて、がんばって!」と激励しました。「大野さん、ようやるなあ」私の感想です。画像は、そのひとこまです。

(松浦 孝次)



後記

一雨ずつ、冬の寒さから解かれ、春に向かう実感がようやく出てきた今日この頃です。例会の数日後24日、朝日の紙面に東ティモールの「高出生率、前途に影」という記事が掲載されていました。同国の最高レベルの高い出生率が、深刻な若者の失業問題をさらに悪化させている。敬虔なカトリック信者が多い国情が、避妊による家族計画を妨げているというものでした。文化も生活も違う異国で、石橋さんの活動の大変さをあらためて思い知りました。

卓話の前に、司会の私の横にいた石橋さんが、田中穰二さんの聖句「隣り人になること」の言葉に、しきりにうなずいていたのは、ご自身の活動と聖句を重ね合わせ、そこに活動の原点をきっと見たのでしょう。

(中村 茂高)